

# 第四紀研究 第6巻

第1号 1967年6月

## 原著論文

- 新潟花粉グループ：柏崎平野の下末吉期堆積物の花粉化石について…………… 1  
新潟古砂丘グループ：日本海側の古砂丘について……………19

## 資料

- ネオテクトニクス太平洋地域研究連絡会議の議事録および講演要旨（英文）……………29

## 講演要旨

- 1966年度例会〔H. D. KAHLKE〕……………37

## 1967年度総会

- 〔シンポジウム：UMP第四紀総合報告〕……………38

- 〔シンポジウム：黒土の生成〕……………40

- 〔一般研究発表〕……………42

- 〔シンポジウム：日本における下部旧石器文化の存否〕……………44

## 解説

- 松井 健：第四紀の研究に用いられる土壌学に関係の深い用語の二、三についてのおぼえがき……………47

## 書評

- 学会記事……………50

- 雑録……………55

- 正誤表〔市原 実ほか〕……………56

- 通知事項……………表紙 ii

第2号 1967年10月

## 原著論文

- 黒田啓介：滯美層群上部から産出する植物遺体……………57

- 山本武夫：歴史時代に於ける日本とその周辺の降水量の長期変動に関する 2~3 の考察……………63

- 小畑 浩：中海・宍道湖付近の第四系と地形発達史……………69

## 解説

- 長谷川和夫・湊 正雄・大矢 暁・柴崎達雄・陶山国男・高橋雄一郎・和田温之：

- 新潟平野における晩期第四系の年令……………79

- 江原昭善：人類を表現する諸用語とその概念について……………85

## 短報

- 林 朝榮・中川久夫：台湾と日本列島の更新統の対比（予報）……………88

- 正誤表〔黒田啓介〕……………62

- 通知事項……………表紙 ii

第3号 1967年11月

## 原著論文

- 石川佳代・太田陽子：滯美曲陸運動に関する若干の資料……………89

成瀬 洋：日本の洪積世編年のための資料と 2・3 の考察 ——南関東における気候海面変化を中心として——	93
塚田松雄：野尻湖における化石枝角類と生態的秩序	101
解 説	
清水恵助・青木 滋：ボーリング柱状図の見方	111
抄 録	116
書 評	118
学会記事	119
雑 録	120
通知事項	表紙 ii

第 4 号 1967年12月

年代測定特集号

阪上正信：ウランおよびアクチノウラン系列放射性同位体非平衡系による年代測定法	121
島 誠：フィッシュトラックによる年代測定法	134
小嶋 稔・兼岡一郎：K-Ar 法による年代測定概説	141
本越邦彦：炭素-14 による年代測定の誤差とその補正	151
浜田達二：熱ルミネッセンス年代決定	158
田辺義一：弗素含量による古人骨の編年	164
勝井義雄・近堂祐弘：黒曜石の水和層による年代測定法	168
景守紀子・市原 実：材化石のアセチルプロマイド処理法	172
下田信男：マンガンによる骨の相対年代決定法	175
堀部純男：古代海水温度の測定	180
小林国夫：テフロクロノロジーと絶対年代決定	186
藤井昭二：“沖積層”とその絶対年代—後氷期の時代区分の試み—	192
山田 忍：土壌学的見地から見た沖積世火山灰の年代測定法とその実例	200
小西健二：太平洋域周縁相礫性石灰岩の年代測定と地殻変動率—生物源炭酸塩中の天然放射性核種による過去15万年までの適用—	207
星野通平：海底堆積物の年代測定	224
渡辺直経：人類学考古学のための磁気年代学—日本におけるその現状展望—	230
芹沢長介：日本石器時代と $^{14}\text{C}$ 年代	239
編集後記	242
通知事項	表紙 ii